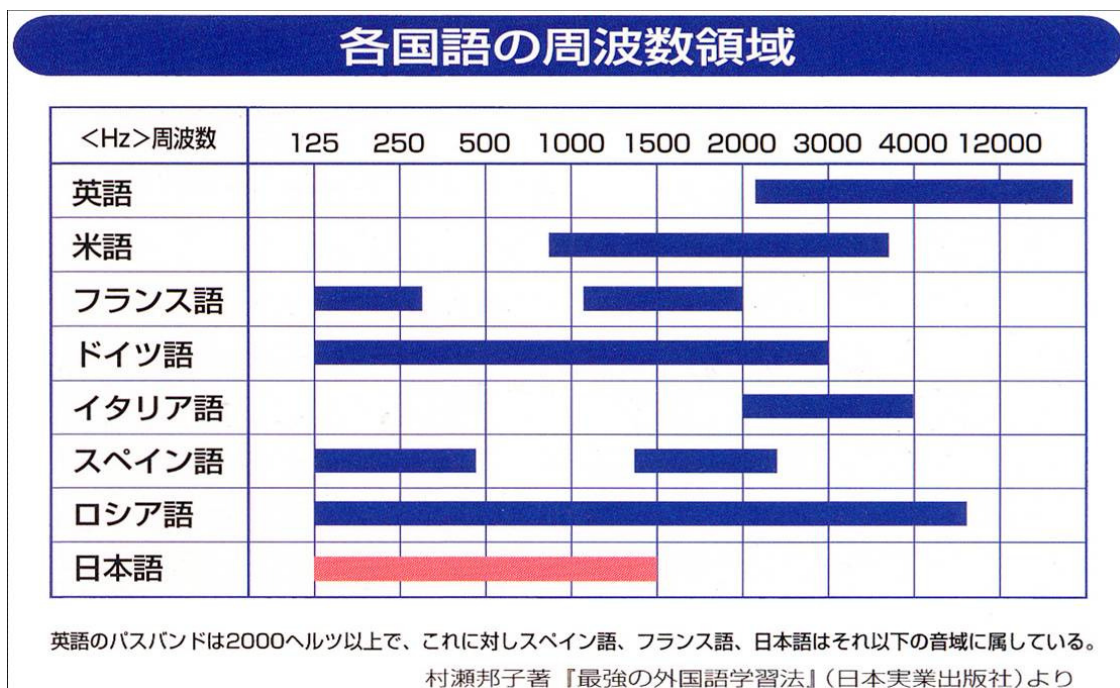


なぜ、早いうちから

英語をはじめると良いの？

日本人の平均英語力を比較して、最低でも中学高校の6年間も英語を勉強しているのに、なぜ日本人にとって英語が苦手なのか調べてみました。

まず下の表を見てください。各国語の周波数領域の違いです。



日本語は低周波、英語は高周波でそれぞれ周波数領域が重なっていないのが分かります。そのため、大きくなってから英語習得に苦戦する理由として、下記があげられます。

理由1: 日常生活で耳にすることのない音(周波数領域)は聞き取れない。音の壁ができてしまっているため、リスニングが困難。

理由2: 言葉を理屈(文法)で考えてしまい、会話をするときにスピードについていけない

実は、赤ちゃんはこの全ての領域の音を聞き取る能力を持っているのです。しかし、生まれた環境に存在しない音声は、やがて聞き取れなくなっていきます。

皆さんは右脳の働きの主な特徴をご存知ですか？特に幼児期のお子さんの脳はみんな右脳優位です。お子さんの聴覚には、音に対する壁はまだ薄く、大変低い周波数音域から大変高いものまで聞き取ることができます。更に、右脳は理屈・理論ではなく、事実を捉えるという力があります。つまり、大人では聞き取りづらい英語の高い周波数領域が楽に聞き取れます。また、英語の文法を考えるとなく、言葉として受け止めることができます。これは、私たち自身が幼児期に両親や周囲の日本語を生活の中で聞き続け、特にリスニングの勉強をしようと思っていないのに無意識の入力の繰り返しで結局日本語を定着させることができたのと同じことなのです。

ぜひ、同じようなやり方でできるだけ多く英語も聞かせてあげ、幼いうちから「英語脳」を作ってあげることが、子ども達の将来に大変役立つ鍵となります。

